

344

373

記念植樹
= 關スル
注意



始



344
373

記念植樹ニ關スル注意

344-373

聖上陛下御即位ノ大典記念ノ爲植
 樹事業ヲ行フカ如キハ極メテ適當
 ノモノナリト認ム仍テ之ニ關シ心
 得ヘキ事項ノ梗概ヲ記述シ此等計
 劃者ノ參考ニ資ス

大正三年二月

山林局

大正
 8. 3. 17
 付交

記念植樹ニ關スル注意

目次

第一節	記念事業トシテ植樹ノ適當ナル理由	一
第一	森林直接ノ効用	一
第二	森林間接ノ効用	二
一	森林ハ洪水ヲ防止ス	三
二	森林ハ類雪墜石及飛砂ノ害ヲ防止ス	四
三	森林ハ氣候ヲ調和ス	四
四	森林ハ水源ヲ涵養ス	五
五	森林ハ漁獲ヲ多クス	六
六	森林ハ風致上及衛生上必要ナリ	七
第二節	記念樹ノ植栽	七
第一	場所ノ選定	八
第二	樹種	八
第三	植栽	一〇
一	植栽ノ準備	一〇

第三節 記念林ノ造成

第一	場所ノ選定	一三
第二	樹種	一四
第三	植栽	一五
一	地拵	一五
二	苗木	一六
	掘取	一七
	荷造	一七
	運搬	一八
	到着後ノ取扱	一九
三	植付	一九
第四	手入及保護	二一
一	刈	二一
二	保護	二四

目次

記念植樹ニ關スル注意

第一節 記念事業トシテ植樹ノ適當ナル理由

凡ソ記念事業ノ選擇ニハ精察細思ヲ重ネ苟モ遂行ノ困難ニシテ中途蹉跌ヲ見ルノ虞アルモノ或ハ完成容易ナルモ之カ維持保全困難ニシテ動モスレハ漸次廢絶ニ歸スヘキ疑アルモノ、如キハ之ヲ避ケ宜シク實行ノ安全ニシテ其成績ノ永久ナルモノヲ選ハサルヘカラス而シテ林業ノ如キハ最モ良ク此目的ニ適合セル事業ナリ

記念事業トシテノ林業ニハ林野ノ整理、苗圃ノ新設、樹木ノ植栽、施業案ノ編成、運搬路ノ新設等種々アリト雖モ就中樹木ノ植栽ヲ以テ最モ適切トナス蓋シ樹木ハ一度之ヲ植付ケテ管理其宜シキヲ得ハ歲月ヲ經ルニ從ヒ益々生長繁茂シテ其翠綠滴ルカ如キ枝葉ニ依リ日光ノ直射ヲ遮リテ庇蔭ヲ作り風力ヲ緩和シ塵埃ノ發生ヲ防キ葉面ヨリ多量ノ水分ヲ蒸發シテ清涼ノ快感ヲ與ヘ能ク風致ノ美ヲ増スノミナラス數十年ノ後亭々タル巨幹矗立シテ天ヲ摩シ棟梁ノ材ヲ産スルモノナレハナリ若シ夫レ多數ノ樹苗ヲ山野ニ植栽シテ森林ヲ造成センカ其直接及間接ノ効益益々多大ナルモノアリ左ニ之ヲ述ヘン

第一 森林直接ノ効用

森林ノ人類生活上ニ及ホス直接ノ効用ハ其國民ノ生活狀態、其國經濟ノ程度、工藝及交通發達ノ度ニ

依リテ一様ナラスト雖モ我國ニ於テハ他國ニ比シ遙ニ多額ノ木材ヲ消費シツ、アリ試ミニ吾人ノ住居
 スル家屋ハ何ニ依リテ造ラル、カ、吾人ノ常用スル家具什器類ハ何ヲ原料トナスカ、吾人ノ食物ヲ養
 沸シ又ハ暖房ニハ何ヲ用フルカ、更ニ進ンテ船舶及車輛ノ原料、土木用材、鑛業用材、兵器用材、機
 械用材、包装用材等ニ至リテハ如何蓋シ一トシテ木材之カ用ヲナサ、ルモノナカルヘシ加フルニ輓
 近科學ノ進歩ト工藝ノ發達トハ相俟テ益々木材ノ用途ヲ増シ或ハ木材ヲ分解シテ紙ヲ製シ或ハ木材ヲ
 乾餾シテ木醋、木精、「アセトン」等ヲ得更ニ樹皮、枝葉及樹實ヲ蒸餾シテ各種ノ油類ヲ採リ又ハ木材
 及其含蓄物ヲ原料トシテ人造絹絲及「セルロイド」等ヲ製スルニ至レリ是レニ因テ之ヲ觀レハ木材應用
 範圍ノ廣大ナル實ニ窮極ナカラントス

木材ノ代用品トシテ鐵材、石材、「セメント」、護謨及石炭等ノ用途年々逐フテ増加スル爲メ木材ノ需
 要額ハ漸次減少スルカ如キ感アルモ是レ蓋シ皮相ノ觀察ニシテ決シテ然ルモノニ非ス只世運ノ進歩ニ
 伴ヒ大材ヲ用ヒタル代リニ小材ヲ用ヒ、厚板ノ代リニ數枚ノ薄板ヲ貼合セタルモノヲ以テシ又ハ劣等
 材ニ着色シテ貴重材ニ模擬スル等木材ノ使用法ニ多少ノ變遷アルヲ免レサルモ其需要額ニ至リテハ人
 口ノ増殖ト工藝ノ發達トニ伴ヒ多々倍々増加スルハ自然ノ趨勢ニシテ決シテ疑ヲ容ルヘカラサル事實
 ナリトス

第二 森林間接ノ効用

繙ツテ森林ノ國土保安上其他ニ及ホス間接ノ効用ニ至リテハ其影響スル所多大ナリトス即チ

一、森林ハ洪水ヲ防止ス

我國ハ外國ニ比シ雨量頗ル多ク一ケ年ヲ通シテ普通一千五百乃至二千「ミリメートル」ニシテ時トシテ
 四千「ミリメートル」ヲ超エ殊ニ暴風雨襲來ノ候ニ於テハ一日ノ雨量實ニ四百「ミリメートル」ニ達ス
 ルコトアリ此ノ如キ多量ナル強雨ヲシテ山腹ヲ暴露シ樹木ノ之ヲ妨クルコトナクハ非常ナル猛勢ヲ
 逞クシテ奔流シ疎鬆ナル土壤ハ勿論岩石地ト雖モ遂ニ其暴力ニ耐ユルコト能ハスシテ漸次崩壊流失シ
 所謂地肉ヲ剝キ山骨ヲ削ルノ慘狀ヲ呈スルニ至ルモノナリ其程度ハ固ヨリ地質ト地勢トニ應シテ多少
 ノ差アリト雖モ特ニ森林ノ有無ニ重大ナル關係ヲ有ス即チ山腹カ鬱蒼タル森林ヲ以テ被蔽セラル、ニ
 於テハ網狀ニ蔓延セル樹根ニ依リテ能ク輕鬆ナル土壤及崩壊セル岩石ヲ固定シ且之ヲ覆フニ落葉蘚苔
 ノ床ヲ以テシ能ク之ヲ保護安定スヘシ蓋シ落葉ハ自體重量ノ五倍乃至七倍ノ水ヲ吸收シ蘚苔ハ能ク十
 倍ノ水ヲ保持シ林木ノ樹冠ハ先ツ降雨ヲ其枝葉ニ受ケ留メ樹幹ニ沿フテ徐々ニ之ヲ地上ニ傳ヘ以テ雨
 水ノ猛射ヲ防クノミナラス森林ハ降下シタル水ヲ無數ノ小支流ニ分チテ水勢ヲ弱メ其流下ヲ緩慢ナラ
 シムルヲ以テ強雨ノ場合ト雖モ能ク洪水ノ氾濫ヲ防クノ効アルモノニシテ且林内ヨリ流下スル水ハ概
 シテ土壤ヲ含ムコトナク清淨ナルヲ常トス之ニ反シテ若シ山腹ノ森林ヲ伐採スルトキハ一物ノ強雨
 ヲ支フルモノ無キヲ以テ雨水ハ猛威ヲ逞クシテ奔流シ土壤及岩石ヲ混シテ甚キ濁流トナリ溪谷ヲ穿

チ山脚ヲ削リ屢々山崩レノ慘狀ヲ呈シテ唯ニ山嶽地方ヲ害スルノミナラス激流一時ニ襲來シテ下流ノ堤防ヲ破リ田畑ヲ埋メ河床ヲ嵩メ家屋ヲ流シ人畜ヲ害スル等災害頻發シテ酸鼻ヲ極ムルヲ常トス

二、森林ハ頽雪墜石及飛砂ノ害ヲ防止ス

寒冷ナル山嶽地方ニ於テ冬期ノ積雪ハ恰モ岩石ノ如ク固結スルモ春暖ノ候ニ至ラハ地温ノ爲メニ地面ニ接觸スル部分先ツ融解シ始メ其密着ヲ失フヲ以テ山腹ノ堆雪ハ一時ニ墜落シテ土地ヲ崩壞シ家屋ヲ埋没シ人畜ヲ害スルモノナリト雖モ道路又ハ人家ニ近キ山腹ニ森林繁茂セハ降雪ノ大部分ハ其枝葉幹根ニ依リテ支ヘラル、ヲ以テ能ク頽雪及墜石ノ慘害ヲ免レ得ルモノナリ、又輕砂ヲ以テ被ハレタル平地及海岸地方ニ於テハ強風ニ際シ高ク砂塵ヲ捲イテ附近ノ村落及耕地ニ害ヲ及ホスモ若シ帶狀ノ森林ヲ以テ之ヲ隔離スルカ又ハ全部森林ヲ以テ蔽フトキハ能ク暴風ノ猛勢ヲ減殺シ、落葉蘚苔ノ作用ニ依リ常ニ土地ヲ濕潤ナラシメ且樹根ニ依リテ土砂ヲ固定シ以テ飛砂ノ害ヲ防キ得ルナリ

三、森林ハ氣候ヲ調和ス

森林ハ其密蔽セル樹冠ニ依リ陽光ノ直射ヲ遮リテ土地ノ熱セラル、作用ヲ減シ且絶エス其葉面ヨリ水分ヲ蒸發シテ林内空氣ノ熱ヲ奪フヲ以テ夏期ニ於テ林内ハ林外ニ比シ其温度低シ而シテ低温トナリタ

ル空氣ハ其ノ比重ヲ増ス爲メ理學ノ定則ニ依リ山上ヨリ平地ニ降下シテ附近一帶ヲ清涼ナラシム又樹冠ハ寒風ノ林内ニ侵入スルヲ遮リ且夜間地面ヨリ温度ノ放散スルヲ防止スル爲メ冬期及夜間ニ於テ林内ノ空氣ハ林外ニ比シ冷却セラル、コト少キヲ常トス故ニ森林廣ク繁茂スレハ能ク晝夜ノ氣温ヲ平均シ寒暑ヲ中和シ、氣候ノ激變ヲ調節スルノ作用ヲ爲シテ農作物ノ生長及人類ノ健康ニ重大ナル關係ヲ及ホスモノナリ

四、森林ハ水源ヲ涵養ス

空氣ハ其温度ニ依リ包含スヘキ濕氣ノ量ヲ變スルモノニシテ温度高マルニ從ヒ益々多量ノ濕氣ヲ包含シ温度ノ減スルニ從ヒ濕氣ノ含蓄量ヲ減スルモノナリ而シテ林内ハ林外ヨリ清冷ニシテ其差夏期ニ於テ最モ甚シキヲ以テ夏日林内ニ吹キ來ル空氣ハ忽チ其温度ノ下降スル爲メ關係的濕氣ヲ増シテ飽和點ニ近ツタカ又ハ飽和點ニ達シテ剩餘ノ水分ヲ凝結ス加之樹葉ハ多量ノ水分ヲ蒸發シテ林内濕氣ヲ増スヲ以テ前作用ト相俟テ林内ハ林外ニ比シ其空氣常ニ濕潤ナリ從ツテ雨量ニ重大ナル關係ヲ及ホスモノトス

森林ノ有無ト雨量トノ關係ハ海面上ノ高サニ應シ異ナルモノニシテ溫暖ナル空氣上昇シテ稀薄ナル氣層中ニ入ルトキハ其容積ヲ擴張スル爲メ熱ヲ失フノミナラス高地ハ夜間ニ於テ熱ヲ發散シテ冷却スル作用大ナルヲ以テ空氣ノ高所ニ昇ルニ從ヒ益々其關係的濕氣ヲ増シ遂ニ飽和點ニ達シテ餘分ノ濕氣ハ

凝結シテ雨トナルモノナリ獨逸國ニ於ケル觀測ノ結果ニ依レハ森林地ハ無林地ニ對シ降雨ノ増加量ハ海面上三百尺ノ所ニ於テハ僅ニ八「ミリメートル」ナルモ三千尺ノ高所ニ至レハ八百十一「ミリメートル」ナルカ如シ

尙森林ハ其樹冠ニ依リテ陽光ノ直射ヲ遮リ、空氣ノ流通ヲ妨ケ且溫度ヲ減シ濕度ヲ増スノ作用ニ伴ヒ地中ノ水分蒸發量ヲ減スルモノニシテ一般ニ林地内ニ於ケル水分蒸發量ハ裸地ニ於ケル蒸發量ニ比シ僅ニ四割乃至四割半ニ過キサレモ若シ落葉藓苔ノ完全ニ林地内ニ被フトキハ更ニ蒸發量ヲ減シテ二割餘トナルモノナリ而シテ此關係モ亦海面上ノ高サニ依リ著シク異ナルヲ常トス

以上各種ノ關係アルカ爲メ森林繁茂スルトキハ能ク霧ヲ起シ雨ヲ呼ビ、地水ヲ貯ヘテ河川ノ水源ヲ涵養シ常ニ均一ノ水量ヲ供給シテ水道ノ水源、水力ノ利用及農地ノ灌溉ニ多大ナル効果ヲ及ホスモノナリ

五、森林ハ漁獲ヲ多クス

森林荒廢セハ降雨毎ニ劇シク濁流土砂ヲ流出シテ河床ヲ嵩ムルヲ以テ河川ニ遡ル魚族ヲ減スルノミナラス河口ニ於テ海藻ノ繁殖ニ必要ナル岩礁ヲ埋没シ海底ノ状態ヲ變化シテ之ヲ枯死セシメ且微生物ノ繁殖ヲ害シテ魚族ノ食餌ヲ減スル爲メ魚介類ハ遂ニ海岸ニ集リ來ラサルモ若シ之ニ反シテ水源ノ森林繁茂セハ河心深く水清澄ニシテ魚族ノ生息ニ適シ殊ニ海岸一帯ノ地及島嶼ニ森林鬱蒼トシテ其暗黒ナ

ル陰影ヲ遠ク海面ニ投ニルトキハ單ニ食餌ヲ多カラシムルノミナラス魚族ハ好シテ暗所ニ産卵スルヲ以テ盛シニ近海ニ群集シテ著シク漁獲高ヲ増スハ實例ニ徴シテ明カナリ

六、森林ハ風致上及衛生上必要ナリ

巨幹老樹鬱鬱トシテ神社佛閣ノ森嚴ヲ保チ綠樹紅葉參差トシテ滿山ノ風光ヲ粧ヒ白砂青松和シテ海岸ノ明媚ヲ添ユル等森林カ風致ニ及ホス關係ノ甚タ大ナルハ言フ迄モナシ、又樹木ハ空氣中ノ炭酸瓦斯ヲ吸收シテ酸素ヲ吐出シ林内ノ空氣ハ「オゾン」ニ富ムヲ以テ動物質ノ腐敗植物質ノ腐朽ニヨリテ發生シ又ハ不潔ノ濕地ヨリ蒸散セシ有毒瓦斯ヲ酸化シテ常ニ空氣ヲ清淨ナラシム吾人カ林内ニ入り著シク快感ヲ覺テ呼吸ノ容易ナルヲ感スルハ全ク是レカ爲メニシテ山間住民ノ概シテ無病長命ナルハ蓋シ森林カ衛生上ニ及ホス効果ニ顯著ナルコトヲ證シテ餘アリ、現ニ暖國ニ於テハ森林ヲ濫伐シタル爲メ其地方ニ流行病ヲ發生シ之ニ反シテ森林ヲ造成シタル爲メ熱病ヲ減シタル如キ實例尠ナカラス森林ノ効力偉大ニシテ經濟上將又國土ノ保安上必要缺クヘカラサルコト以上述フルカ如シ殊ニ我國ノ風土ハ最モ森林ニ適シ其生長力頗ル大ナリ加之廣濶ナル地積ヲシテ徒ニ放任セラレ、モノ甚タ鮮カラズ是レ記念事業トシテ造林カ極メテ適切ニ且重要ナル所以ナリ

第二節 記念樹ノ植栽

第一 場所ノ選定

記念樹ヲ植栽スヘキ場所ハ其ノ樹木ヲ永久且安全ニ生立セシメ以テ記念ノ目的ニ添フルコトヲ要スル
カ故常ニ公衆ノ目ニ觸レ易ク且保護撫育ノ周到ニ行ハレ得ヘキ場所ヲ選定セサルヘカラス即チ神社佛
閣ノ境内、學校、官公署ノ構内、公園、名勝地、道路、堤塘其他之レニ類似ノ箇所ヲ適當トス家運ノ
榮枯盛衰ヲ豫期シ難キ個人ノ邸宅地ノ如キハ固ヨリ之ヲ避ケサルヘカラス

第二 樹種

記念樹ハ本邦固有ノ樹種ニシテ能ク其ノ地方ノ風土ニ適シ材質強靱ニシテ風雪ノ害、蟲害、病害、烟
害等ニ對スル抵抗力強ク生長旺盛ニシテ喬大ナル樹幹ヲ形成シ姿勢雄壯風致ニ富ミ長壽ニシテ永年衰
境ニ入ラス而モ價値アルモノヲ選擇スルヲ要ス此要件ニ適合スル樹種左ノ如シ(以下第一ハ最モ適當
ナルモノ第二ハ之ニ亞クモノ第三ハ第二ニ次クモノナリ)

東京以南ノ地ニ在リテハ

- 第一 くす、いちむがし、其他ノ常緑かし類、まき、いてふ
- 第二 くらまつ、あかまつ、かや
- 第三 なぎ

東京以北ノ地ニ在リテハ

- 第一 けやき、いてふ
- 第二 すぎ、ひのき、こうやまき
- 第三 あかまつ、くらまつ

信州其他之ニ準スル寒冷ナル地方ニ在リテハ

- 第一 からまつ、しほじ
- 第二 はりぎり、くり、くるみ、ひば

以上ノ樹種中現ニ老樹名木ト稱セラレ最モ巨大ナル生長ヲナスモノ、實例ヲ舉クレハくすヲ第一トシ
地上五尺ノ周圍七十二尺樹齡一千八百年(福岡縣築上郡上城)ニ達スルモノアリ之ニ亞クハすぎニシテ六十
六尺樹齡一千年(富山縣高岡市末廣町)ニ達シ次テいてふ五十六尺樹齡八百年(徳島縣名西郡高志村大) けやきノ五十尺
樹齡一千年(長野縣小縣郡澁野村西) まつノ四十五尺樹齡八百年(鳥取縣西伯郡米子町法成寺境内) しほじノ三十六尺樹齡四百
六十年(朝鮮慶尙北道安東郡一直接洞) ひのきノ三十尺樹齡一千年(東京府西多摩郡氷川村大字日原) かやノ三十尺樹齡三百年(埼玉縣大里郡
新井村大字高島諏訪) からまつノ二十五尺樹齡一千二百年(新潟縣西蒲原郡國) まきノ二十五尺樹齡五百三十年(愛知縣南設
大字鴨ヶ谷) かしノ二十五尺樹齡三百年(熊本縣球磨郡多良木村大字牛島) はりぎりノ二十四尺樹齡四百年(青森縣上北郡七
戸町瑞龍寺境内) くらノ二十一尺樹齡五百年(青森縣東津輕郡新井村大字八幡村) こうやまきノ十八
尺樹齡一千年(滋賀縣甲賀郡雲井村大字紋旨玉桂寺境内) なぎノ十八尺樹齡七十五年(和歌山縣東牟婁郡新宮町速玉神社境内) くるみノ十二尺樹齡

一、植栽ノ準備

植栽シタル樹木ノ能ク活着シテ喬大ナル生長ヲナスト否トニ就テハ種々ノ要件アリト雖モ就中地味ノ良否ニ關スルコト甚大ナルヲ以テ可成濕地ヲ避ケテ高燥ナル位置ヲ選ミ且土壤ハ粘着ニ失セス輕鬆ニ過キス中庸ニシテ樹木ノ生育上缺クヘカラサル養分ヲ充分ニ含有スルモノナラサルヘカラス即チ重粘土ノ如キハ水分及空氣ノ透過不完全ニシテ降雨アレハ泥濘ニ失シ乾燥スレハ硬化シテ龜裂ヲ生シ又過度ニ砂礫ヲ含ムモノハ到底濕氣ヲ保持スルコト能サルニヨリ彼是共ニ宜シカラス故ニ輕鬆肥沃ナル砂質壤土ニシテ齊一ナル細粒ヨリ成レルモノヲ最モ適當トス

樹木ノ生長スルニ從ヒ樹根ハ益々發育擴張スルヲ以テ良好ナル土壤ノ所要區域ハ固ヨリ一定セスト雖モ少クトモ三尺四方位アルヲ要ス故ニ若シ植栽豫定地ニシテ其土壤ノ性質瘠惡ナラハ三尺四方深一尺五寸位ノ穴ヲ掘リ之ニ耕土ヲ入レテ補充スヘク若シ心土カ粘土質ナルトキハ空氣ノ透過ヲ妨ケ根ノ周圍ニ水分ノ停滯ヲ來スヲ以テ排水ヲ行フヘク又濕地ナル場合ニ於テハ良土ヲ用ヒテ適當ニ盛土ヲナスヲ要ス斯ク注意シテ植栽地ヲ準備セハ樹木ノ活着佳良ニシテ數年間ニ満足ナル生育ヲナシ爾後根ハ次第ニ擴張シテ強勢トナリ遂ニハ改良セサル周圍ノ土壤中ニ侵入スルモ安全ニ生育伸長シ得ルモノナ

二、苗木ノ選擇

記念樹ハ苟モ枯損ノ虞ナキ様特ニ健全ナル苗木ノ選擇ニ就キ慎重ナル注意ヲ拂フヲ要ス即チ樹幹眞直、枝葉整正、根組織密ニシテ且發育完全ナルモノヲ選ハサルヘカラス樹冠徒ラニ長大ニシテ甚シキハ梢頭分岐シ根數少ナクシテ而モ屈曲セルカ如キハ最モ忌ムヘキモノトス而シテ植栽ニ當リ活着ノ安全ヲ期スル爲可成近距離ノ苗圃ヨリ土付苗トナシ其根ノ組織ヲ害セサル様植付クルヲ以テ原則トナスヘキモ若シ然ラスシテ遠隔ノ地方ヨリ運搬セサルヘカラスル場合ニハ掘取、荷造、輸送及到着後ノ手當等ニ就キ周到ナル注意ヲ怠ラサルヲ要ス即チ根ノ組織ヲ損セサル様鍬ノ類ヲ以テ苗木ヲ掘取ルヤ否ヤ日光及風ニ觸レテ乾燥セサル様濕潤ナル水苔ノ類ヲ以テ充分ニ根部ヲ包ミ尙大苗ナレハ幹枝ノ損傷セサル爲藁又ハ菰ヲ以テ之ヲ卷キ小苗ナレハ數本ヲ集メテ束ニ把ネ菰ヲ以テ横卷トシ其上ヨリ繩ヲ以テ根部ヲ強ク縛リテ迅速ニ運搬スヘク到着後ハ直ニ荷造ヲ解キ植栽スヘク若シ然ラサレハ根ヲ水ニ漬シテ濕潤ナル所ニ假植シ日覆ヲナシ置クヘシ唯斯ノ如クシテ一切ノ手配ヲ如何ニ完全ニ注意スルモ遠地ヨリ運搬シタル苗木ノ活着成績ハ到底前記ノ土付苗ニ及ハサルヲ常トス

三、苗木ノ植付

記念樹トシテ一箇所ニ植栽スヘキ苗木數ハ土地ノ廣狹其他ノ關係ニ因リ固ヨリ一定セスト雖モ少クト

モ同一樹種三本以上ヲ植付クルヲ要ス而シテ樹間距離ハ樹木ヲシテ將來完全ナル生長ヲ遂ケシムルニ足ルヘキ程度トナシ少クトモ四間以上成ル可クハ六間以上ヲ保タシメ若シ其間ニ在來ノ樹木生立スルニ於テハ差向キ被蔭ヲナスノ害ナキ程度ノモノハ其儘トナシ置キ他日妨害トナルノ時ニ至リ之ヲ除去スルモ敢テ差支ナシ

植付ニ際シ先ツ植穴ヲ掘リ穴中ノ瓦石、塵埃及樹根ノ類ヲ除キ充分ニ土塊ヲ碎キ然後苗木ノ表裏ヲ見定メ根組織ノ振レ又ハ圃塊トナルカ如キコトナク且苗木ニ在リタル時ヨリ二三寸深目ニ穴中ニ安置シ次ニ細土ヲ穴ノ半分位迄入レ置キ徐々ニ苗木ヲ搖リナカラ苗木ニ在リタル時ニ比シ凡ソ一寸位ノ深目トナル迄抜キ上ケテ根ノ位置ヲ自然ノ状態ニ保タシメ且根ト根トノ間ニ毫モ空隙ノ存セサル様細土ヲ填充セシメ更ニ土壤ヲ穴中ニ入レ足ニテ踏ミ付ケ地面ヨリ一二寸窪メテ雨水カ自然ニ根元ニ流レ込ムカ如クニナシ置キ最後ニ濕氣ヲ保留スル爲メ藪又ハ藁ノ類ヲ以テ表土ヲ覆ヒ置クヘシ若シ土壤乾燥スル場合ハ植付後水ヲ注クヲ要ス

第四 保護

樹幹ノ姿勢ヲ正シクシ風雪其他ノ影響ニヨリ傾倒スルヲ豫防スル爲大ナル苗木ヲ植栽シタル場合ノ如キハ特ニ添竹又ハ添木ヲ立ツルヲ要ス但シ之ヲ縛スルニハ成ル可ク藁繩ヲ用ユルカ又ハ幹ニ杉皮若クハ菰切レ等柔軟ナル物ヲ當テ其上ヲ棕櫚繩ニテ緩ク縛リ置クヘシ尙規約其他ノ方法ニ依リ牛馬ノ害

及惡戯者ノ加害ナカラシメ且根元ノ土壤ヲ踏ミ固メラル、ヲ豫防スル爲植栽樹木ノ枝端ヨリ二三尺ヲ距リタル所ニ柵ヲ圍ミ以テ樹木ニ近寄ルコト能ハサラシムルコトヲ要ス何人ニモ記念樹タルコトヲ知リ易カラシムル爲堅固ナル標柱ヲ建設スルカ如キハ蓋シ最モ適切ナルヘシ

第二節 記念林ノ造成

第一 場所ノ選定

吾國林野中現時最モ荒廢シ且利用ノ閑却セララル、ハ公有林野ニシテ其面積實ニ五百萬町歩ニ垂ントス故ニ國土保安上ヨリスルモ將タ國家經濟ノ見地ヨリ觀ルモ之ニ對シテ速ニ必要ナル造林ヲ行ヒ以テ其荒廢ヲ恢復シ且其利用ヲ進メサルヘカラス然リ而シテ記念林造成事業ノ如キハ其性質上市町村、小學校、青年團體等ノ企劃スヘキモノニシテ之等ノモノハ直接間接ニ關係公有林野ノ荒廢ヲ恢復シ其利用ヲ増進スヘキ責務ヲ有ス故ニ公有林野ニ於ケル記念林ノ造成ハ斯ノ責務ヲ全フシ以テ國土ノ保安、國富ノ増進ヲ圖ルト共ニ自治ノ基礎ヲ鞏固ニシ且地方産業ノ振興ニ資スル所以ニシテ蓋シ絶好ノ記念事業ト謂ハサルヲ得ス

以上ノ理由ニ依リ記念林ヲ造成スヘキ場所ハ公有林野中比較的の地味佳良適潤ニシテ火災、風害、雪害、煙害其他ノ危險少ク且便利ノ位置ヲ占メ關係地域ヨリ能ク之ヲ展望シ得ルカ若クハ其住民ノ常ニ通行

シ又ハ容易ニ行キ得ル箇所ヲ選ヒ其大サハ少クモ五段歩以上トシ成ル可ク五町歩以上トナスヲ要ス
 造林ノ要訣ハ適地ニ適木ヲ仕立テ完全ナル成林ヲ期スルニ在リ適地ノ選定ニ關シテハ海面上ノ高サ氣
 候ノ關係、山岳ノ方向、傾斜ノ度、雨雪ノ量、暴風ノ方向及其強サ等ヲ稽查シ更ニ進ンテ土壤ノ性質ヲ
 調査セサルヘカラス由來林木ハ永年ニ亘リテ生育スルヲ以テ農作物ニ比シ加里、磷酸及窒素等化學的
 成分ニ對シ要求スル所甚シカラスト雖モ土壤ノ濕氣、深淺及粗密ニ關シテハ大ニ注意ヲ拂ハサルヘカ
 ラス即チ樹木ハ其種類ニ依リ濕氣ニ耐エ得ルノ度ニ強弱アルモ概シテ適潤ノ地ヲ好ミ過度ノ乾濕共ニ
 其生長ニ宜シカラス又樹種ニ依リ淺根性ノモノト深根性ノモノトノ別アリ從ツテ土壤ノ深ヲ要スルノ
 度異ナルモ淺キニ過キテ其直下ニ岩石層横ハルカ如キハ到底樹木ノ生育ニ適セス故ニ若シ誤テ命根深
 キ樹種ヲ淺地ニ造林スルニ於テハ根ノ生長ヲ阻害スル爲早ク樹幹ノ伸長ヲ止ムルカ否ラサレハ命根ノ
 屈曲スル爲樹幹モ亦自ラ屈曲スルニ至ルヲ免レサルナリ尙土壤ノ粒ノ大小及粘着度ノ強弱ハ地中ニ於
 ケル濕氣ノ保持並空氣透通ノ良否ニ關シ惹テ白根ノ伸長及樹木ヲ強固ニ立タシムル等ニ重大ナル關係
 アリ

第二 樹種

記念林ハ其地方ノ風土ニ適シテ諸害ニ對スル抵抗力強ク喬大ナル生長ヲ遂ケテ常ニ莊嚴ナル林相ヲ保
 持シ而モ長壽ニシテ用途ノ廣汎ナルモノヲ選定シ以テ能ク記念ノ目的ヲ貫徹スルヲ要ス即チ本邦特産

ノ多數樹種中試ミニ此目的ニ添フモノヲ選擇スレハ左ノ如シ(以下第一ハ最モ適當ナルモノ第二ハ之
 ニ亞クモノ第三ハ第二ニ次クモノナリ)

東京以南ノ地ニ在リテハ

- 第一 くす、常緑かし類
- 第二 すぎ、ひのき、まつ
- 第三 びやくしん

東京以北ノ地ニ在リテハ

- 第一 けやき、くり
- 第二 すぎ、ひのき、まつ
- 第三 びやくしん、かつら

信州其他之ニ準スル寒冷ナル地方ニ在リテハ

- 第一 からまつ、しほじ
- 第二 ひば、はりざり、くり、くるみ
- 第三 植栽

一、地 拵

地拵一名地明ハ造林ヲ行ハムトスル地上ノ障害木ヲ伐リ荆棘雜草ヲ刈リ拂ヒ又ハ伐採跡地ノ梢木枝條等ヲ掃除シテ苗木ノ植付ニ妨ゲナカラシムル準備事業ニシテ土地ノ狀況ニ應ジテ固ヨリ其方法ヲ異ニスト雖モ力メテ經費少クシテ造林ノ安全ナルヘキ良法ヲ選ハサルヘカラス而シテ地拵ノ要點ハ成ル可ク荆棘雜木ヲ根際ヨリ刈拂ヒ且其枝條ヲ能ク切り拂ヒ置クニ在リ若シ否ラスシテ高キ根株ヨリ盛ニ萌芽シ且蔓莖類ノ枝條ニ纏絡スルコトアラハ獨リ植付ヲ困難ナラシムルノミナラス著シク下刈費ヲ嵩マシムルモノナリ尙刈拂ヒタル草類ハ其儘地上ニ撒布シ置キテ陽光直射ノ爲土壤ノ乾燥スルヲ防クト共ニ漸次腐朽シテ林地ノ肥料トナスヲ利トス往々勞力ヲ吝ミテ地拵ヲ簡單ニナサムカ爲林地一面燒キ拂フモノアルモ得策ト云フヲ得ス何トナレハ之レカ爲永年ニ亘リテ堆積シタル朽土ヲ燒盡シテ林地ヲ瘠惡ナラシムルノミナラス荆棘雜木ノ繁茂セル場所ノ如キハ時トシテ燒殘木ヲ生シ再ヒ之ヲ刈拂フニ容易ナラサル手數ヲ要スルコトアレハナリ故ニ若シ刈拂ヒタル草木類多キニ過キ之ヲ其儘地上ニ撒布セハ植付困難ナル場合ニ於テハ之ヲ谿谷ノ附近又ハ植付ノ出來サル場所ニ卷キ落シ置クヲ良トスルモ地拵ノ之ヲ許サ、ル場合ニ於テハ成ル可ク火床ノ面積ヲ小ニシ所々ニテ之ヲ燒キ拂ヒ可成林地一面ニ火ヲ放ツカ如キ取扱ヲナスヘカラス

二、苗 木

苗木ノ選擇及之カ取扱ノ大要ハ記念樹植栽ノ部ニ於テ其大要ヲ記述シタルヲ以テ左ニ多數苗木ノ取扱

上注意スヘキ要點ヲ掲ケン

(イ) 苗木ヲ掘取ルニハ成ル可ク雨天ヲ避クヘシ殊ニ遠方ヘ輸送スヘキ苗木ヲ掘取ルニハ晴天ト雖モ霜露既ニ消ヘテ葉面ノ水分蒸散シ去ルヲ待ツヘシ何トナレハ常綠樹ニシテ枝葉ノ潤ヒタル儘掘取リニ着手スルトキハ葉面ニ泥土密着シテ其呼吸孔ヲ閉塞スルノミナラス苗木ヲ荷造スルトキハ水分ヲ蒸散スルコトヲ得サル爲メ溫度ヲ高メ苗木ヲ衰弱セシムルヲ以テナリ殊ニ雨天ヲ冒シテ掘取リヲ行フトキハ苗圃ノ耕土踏ミ固メラレテ塊狀ヲナシ後之ヲ粉碎スルニ少カラサル勞力ヲ要ス又苗木ヲ掘取ルニハ鍬類ヲ用ヒ決シテ徒手ヲ以テ之ヲ引キ抜クヘカラス殊ニ土壤ノ固結セル場所ニ於テ徒手ヲ以テ無理ニ拔キ取ルトキハ苗木ノ生育上必要ナル鬚根切斷シ去ラルルノミナラス假令切斷セサルモノト雖モ拔キ取リノ際緊張セラル、爲其木質部ト皮部ト相剝離シ亞皮層ハ生長作用ヲ失フモノ多シ而シテ掘リ取リタル苗木ハ其大小ヲ區別シテ適當ノ把トナシ直チニ其根ヲ土中ニ埋メ須臾モ之ヲ陽光ニ曝スヘカラス蓋シ苗木ノ生育ニ緊要ナル鬚根ハ一タヒ乾燥シテ其生活力ヲ失ヘハ復活シ能ハサルモノナレハナリ尙潤葉樹類ニ在リテハ其根概シテ粗大ナルヲ以テ活着ヲ安全ナラシムル爲梢頭ヲ適當ニ切り去ルヲ普通トス

(ロ) 荷造ニ際シテ一把ノ苗數ハ固ヨリ苗木ノ大小ニヨリテ異ナリト雖モ成ル可ク數ハ易キ數ヲ選フヘク即チ二十五本又ハ五十本ヲ可トス何トナレハ三十、四十、六十等ノ數ハ一把ノ儘ニテ一人

ノ植付數タルヘキ百、百五十、二百、三百等ノ數ヲ得ルコト能ハサレハナリ、而シテ運搬距離近キ場合ニ在リテハ苗木ノ根ヲ潤シテ細土ヲ振り掛ケ其儘荷造リセラル、ヲ以テ足レリトスルモ運搬距離遠サカルニ從ヒ益々根ノ保護ニ注意セサルヘカラス即チ植付ニ先タチ粘土ヲ水ニ溶解シテ糊狀トナシタルモノニ苗木ノ根部ヲ把ノマ、浸ストキハ粘土ハ充分ニ根ヲ被包スルヲ以テ稍々重量ヲ増スノ嫌アルモ能ク長時間乾燥ヲ防クニ耐エテ蘚苔類ニ水ヲ含有セシメテ根ト根トノ間ニ挟ミ且外部ヨリ根ヲ被包スヘシ是レ又久シク濕氣ヲ保ツコトヲ得ルモノナリ要スルニ荷造リニ際シ特ニ注意ヲ拂フヘキハ充分ニ根部ヲ被包シテ能ク其乾燥ヲ防キ常綠樹ノ枝葉部ハ餘リ密包セスシテ葉面ヨリ吐出スル水蒸氣ヲ自由ニ逸散セシムルニ在リ若シ此水分ノ蒸散不充分ニシテ荷造リノ内部ニ鬱閉センカ爲ニ往々溫度ヲ高メテ衰弱スルコトアリ故ニ苗木ヲ把ノ儘横ニ根部ト根部トヲ互ニ相重ネテ梢頭部ハ相反向セシメテ適當ノ束トシ之ヲ菰ニテ横卷キトナシ繩ヲ以テ根部ヲ強ク括リ常綠樹ニ在リテハ葉部ヲ柔カニ括リ且梢頭ハ露出セシムルヲ良シトス

(ハ) 苗木ヲ運搬スルニハ場所ノ便否ニ應シテ種々ノ方法ニ依ラサルヘカラサルモ費用ノ許ス限リニ最モ迅速ニ到達シテ活着ノ安全ヲ期スル様監督手配ヲ嚴重ナラシムヘシ殊ニ常綠樹ノ苗木輸送ニ際シ距離遠隔ニシテ途中ノ行程數日ヲ要スル場合ノ如キハ苗木ノ取次場ニ到着スル毎ニ手ヲ菰ニ挿入シテ葉部ノ冷温如何ヲ檢スヘシ若シ著シク濕氣ヲ感スルトキハ被蔭ノ地又ハ日没後包裝ヲ

解キテ數時間冷却セシメタル後根部ヲ潤シテ荷造シ再ヒ輸送スヘシ若シ其儘運搬ヲ繼續スルニ於テハ甚シク枯損數ヲ増スヘシ而シテ苗木ノ運搬ハ春季其生長作用ヲ始ムル前又ハ秋季其生長作用ヲ休止シタル後ニ於テ爲スヲ要ス即チ梢芽漸ク開キ白根伸ヒ始メタルハ以テ已ニ其遲レタルヲ察スヘク又梢芽及白根ノ生長全ク止ミタル後ニ非サレハ尙早キニ失ス若シ之ヲ誤ルトキハ著シク枯損ヲ招クヘシ

(ニ) 苗木ノ到着シタルトキハ速ニ荷ヲ解キ其疲勞如何ヲ檢スヘシ疲勞ノ徵ナキモノハ其儘直チニ植付クヘキモ若シ疲勞シタルモノハ把ノ儘直チニ其根部ヲ流水ニ浸スヘシ溜リ水又ハ泥深キ所共ニ不可ナリ浸水ノ時間ハ疲勞ノ度ニ應シテ固ヨリ長短アリト雖モ充分ニ水ヲ呼吸シ梢葉ニ至ル迄水分充足シテ活力ノ恢復ヲ認ムルヲ以テ適度トナシ長キニ失スル決シテ宜シカラス蓋シ鬚根腐敗ニ傾クノ虞アレハナリ斯クシテ適當ニ水分ヲ吸收シタル苗木ハ速ニ植付クルヲ要スルモ若シ然ラサル場合ニ於テハ把ノ儘叮嚀ニ根部ヲ深ク畑地ニ埋メ置クヘシ斯クセハ能ク數日ヲ支ヘ得ルモ把ノ内部ニ在ル苗木ハ其根土壤ニ接着シ居ラサル爲衰弱スルヲ以テ數日以上ヲ經サレハ植付ヲ爲シ能ハサル場合ニ於テハ畑地ニ畦ヲ切り流水ヨリ引上ケタル苗木ヲ把ヲ解キ三五本列ヒニ假植シテ其上ニ日覆ヲナシ置クヘシ斯クセハ能ク久シキニ耐エ得ルモノナリ

三、植 付

植付ノ期節ハ造林地ノ氣候並ニ樹種等ノ關係ニ依リ異ナルモ概シテ春秋二期ニ行フコトヲ得ルモノトス秋植ハ秋末ニ至リ苗木ノ生長ヲ休止セムトスル時期ニ行フモノニシテ春植ニ比スレハ概ネ植付期間短キノミナラス苗木ノ根付カサルニ先タチ忽チ冬期トナリ寒風ニ曝サル、ヲ以テ成ル可ク風當リ強カラサル場所ヲ選ミテ叮嚀ニ植栽スルニ非スシハ枯損多キヲ免レスト雖モ能ク活着シタルモノハ次年ノ春植ニ比スレハ恰モ一ヶ年先植シタルカ如ク生長良好ナルヲ常トス又春期植付ニ在リテハ造林地ノ凍結融解スルヲ俟チ直チニ着手シ得ヘク苗木ノ關係ヨリ論スレハ期節ノ早キニ過クルハ寧ロ害少ナキモ白根既ニ伸ヒ始メ新芽開クニ至ラハ成績頗ル不良ナルヲ免レサルモノニシテ其最モ適當ナル期節ハ冬期間生長ヲ休止シタル苗木カ春期ニ至リ鬚根ヨリ水ヲ吸收シ將サニ生長作用ヲ開始セムトスル前後數日間ナリトス然レトモ多數ノ苗木植付ニ對シテハ僅々數日間ヲ以テ終了シ能ハサルカ故ニ常ニ早クヨリ着手シ決シテ期節ニ遅レサル様注意スヘシ

一町步當リ植栽本數ハ樹種、林種、地味ノ肥瘠、地方的天然ノ關係、運搬ノ便否、間伐材ノ需要及主伐材ノ用途等ヲ稽査シテ定ムヘク又植方ニ長方形植、方形植及三角植(三角植ハ方形植ニ比スレハ同面積ノ土地ニ於テ一割五分ノ苗木ヲ増植シ得ヘク且雪害ニ對スル抵抗力強シト雖モ熟練シタルモノニ非スシハ植付困難ニシテ不揃トナリ易シ)等ノ別アリト雖モ要スルニ列間及苗間ノ距離ヲ整正ナラシメ以テ下列ヲ容易ニシ他日壯麗ナル林相ヲ形成セシムルノ必要アリ

更ニ進ンテ苗木ヲ植込ムニハ先ツ鍬ヲ以テ地表ノ落葉草類ヲ輕ク削リテ土壤ヲ露出セシメタル後鍬ヲ地中ニ打チ込ミ穴ヲ掘ルヘシ其深サハ鍬ノ先端ニ濕氣ヲ含ミタル土壤ノ附着スルヲ度トス蓋シ乾燥シタル表土ノミニテハ苗木ノ活着ヲ期シ難ケレハ次ニ穴中ノ土塊ヲ充分ニ打チ碎キ樹根ノ草根ヲ能ク切り去リ石礫ヲ除キ且穴中ニ塵芥ノ入ラサル様注意シ然ル後穴ノ中央ニ苗根ヲ深目ニ入レ成ル可ク自然ノ姿勢ヲ保タシメツ、細土ヲ穴ノ七八分目位入レ苗幹ヲ持チ之ヲ搖リツ、適當ノ處迄引キ上ケ更ニ土ヲ穴中ニ滿タシ足ニテ能ク踏ミ付ケ土壤ノ乾燥セサル様落葉刈草ノ類ヲ以テ根元ヲ覆ヒ置クヘシ之ヲ要スルニ植込ノ秘訣ハ「深ク穴ヲ掘リ苗ヲ搖リナカラ淺ク植ヘ能ク土ヲ締メ置ク」ニ在リ但シ茲ニ淺植ト云フハ深植ニ過キテ二階根ノ出ルカ如キコトヲ避クルノ意ニシテ苗圃ニ在リタル時ニ比シ較々深目ニ植込ムハ當然ノコトナリトス

右ノ如ク充分ナル注意ヲ拂ヒテ植付クレハ苗木ハ能ク活着シテ良好ナル生長ヲナスモノナルモ間々枯損シタルモノヲ生シタルトキハ次年ニ於テ適當ノ期節ニ優勢ナル苗木ヲ用ヒテ是レニ補植シ以テ整正ナル林相ヲ形成スルニ努ムヘキナリ

第四 手入及保護

一、下刈

植付後第一着ニ行フヘキ手入事業ハ下刈ニシテ林内ノ荆棘雜草ヲ刈拂ヒ以テ雜草ノ生育ヲ扶ケ且防火

ノ備ト爲スヘシ刈拂ヒタル草類ハ可成其儘林内ニ撒布腐朽セシメテ肥料ノ用ニ供スルヲ可トス元來造林地ニ下刈ヲ行フハ恰カモ農地ニ耕耘施肥スルト同一目的ニ歸着スルカ故ニ下刈ヲ叮嚀ニ實施スルト否トハ新植林ノ生育上至大ノ關係アルモノニシテ彼ノ風害、雪害等少ナキ地方ノ幼林ニシテ或ハ生長不良ニ陥リ又ハ樹幹屈曲シテ林相不整ナルカ如キ多クハ下刈ノ周到ナラザリシニ起因スルモノナリ

下刈ハ造林地ノ氣候、地味ノ良否、樹種陰陽並生長力ノ遲速、植栽本數ノ粗密、雜草ノ種類及其繁茂ノ狀況等ニ依リテ固ヨリ一樣ナラスト雖モ植樹ノ年ヨリ起算シテ短キモ三四ケ年長キハ七八ケ年間之ヲ實施スルヲ要ス即チ氣候寒冷ナル地方ハ溫和ナル地方ニ比シテ下刈ヲ要スルコト少ク峯通ニ近キ場所若クハ瘠地ニ在リテハ谿谷ニ近キ場所若クハ肥沃地ニ比シテ下刈ヲ要スルコト少ク、蔭樹若クハ速長樹ハ陽樹若クハ遲長樹ヨリ下刈ヲ要スルコト少ク、密植林ハ粗植林ヨリ下刈ヲ要スルコト少ク、柔軟ナル葉ヲ有スル草類ノ生スル場所ハ荆棘、蔓草及笹類ノ繁茂スル場所ニ比スレハ下刈ヲ要スル程度遙ニ低キカ如シ

草類ノ繁茂甚タシキ林地ニ於テハ植樹後兩三ケ年間ハ毎年二回ツ、下刈ヲ爲シ以テ雜苗ノ生育ヲ補助スルノ要アルコト多シコハ固ヨリ地方ノ狀況ニ依リ異ルモ第一回刈ハ普通梅雨ノ頃行フヘク第二回刈ハ夏期土用後ニ至リテ行フヘシ毎年一回ツ、下刈ヲナス場合ニ於テハ夏期土用ノ頃ヲ標準トシテ之ヲ實行スルモノトス然リ而シテ氣候荒キ地方ニシテ冬期風雪ノ被害多キ林地ニ在リテハ下刈後發生シタ

ル草類ニ依リテ寒風若クハ霜雪ニ對シ雜苗ヲ保護スルノ注意ヲ要スルコトアリ

要スルニ下刈ハ植樹後草類ノ繁茂スル間ハ年々怠ラス之レカ實行ヲ爲スヘク數年ノ後苗木生長シテ草類漸ク衰フルニ至ラハ單ニ蔓莖類ノ如キ有害ナルモノ、ミヲ刈拂フカ又ハ隔年ニ下刈ヲ行フヲ以テ満足シ得ルニ至ルヘク爾後幼林益々生長ヲ逞クシテ樹冠相觸接シ鬱閉ヲ保チ陽光ノ射入ヲ遮ルニ至レハ草類茲ニ全ク消滅シ去ルヲ以テ終ニ下刈ノ要ナキニ至ルモノナリ要スルニ下刈ハ幼林ノ生長ヲ補助スル爲メ必要缺クヘカラサル事業ナリト雖モ其費用ハ年々重利ヲ以テ増大シ長期ノ輪伐齡ニ達セハ輕視スヘカラサル費額トナルカ故ニ林木ノ生長ヲ妨ケサル程度ニ於テ成ル可ク下刈費ノ節約ニ注意セサルヘカラス今下刈實行ニ關スル注意スヘキ事項ヲ擧ケレハ左ノ如シ

- (イ) 傾斜地ニ於ケル下刈ハ常ニ山麓ヨリ始メ山腹ヲ横ニ刈リツ、漸次山頂ニ向テ刈リ上ルヘシ蓋シ山上ヨリ刈リ始ムルニ於テハ刈拂ハレタル草類ハ下方ニ飛散シテ未タ刈ラサル部分ヲ覆フカ故ニ下部ヲ刈ルニ不便ナルノミナラス爲ニ往々刈リ殘シヲ生スルコトアリ
- (ロ) 刈拂ヒタル草類ハ沿ク林地面ニ撒布シテ土壤ノ乾燥ヲ防キ且其儘腐朽セシメテ苗木ノ肥料トナスヘキモ之カ爲苗木ノ覆ハレサル様注意スヘシ
- (ハ) 誤テ苗木ヲ刈リ切り又ハ損傷セサル様特ニ注意スヘシ
- (ニ) 草類ノ根株ハ成ル可ク低ク刈拂フヲ要ス殊ニ萌芽性ノ雜木類ニ於テ然リトス但シ寒害ノ劇シキ

場所ニ於テハ苗木ノ梢部ヲ覆ハサル程度ニ於テ雜草ノ中刈ヲナシ又ハ苗木ノ周圍ノミ局部刈ヲ施スニ止ムルヲ可ナリトスルコトアリ

(ホ) 蔓莖類ハ特ニ注意シテ切り去リ其苗木ニ纏絡セルモノハ叮嚀ニ之ヲ解キ去ルヘシ

(ヘ) 苗木ノ梢頭分岐セルモノハ生長良好ナルモノ一本ヲ殘シテ他ヲ切り去リ以テ直幹ヲ得ルコトニ努ムヘシ

(ト) 傾斜地ニ於テハ下刈ノ際苗木ノ上方ニ足ヲ掛ケ爲ニ樹幹ノ山麓ニ向テ彎曲スルコトナキ様注意スヘシ

(チ) 倒レタル苗木ヲ發見シタルトキハ叮嚀ニ之ヲ起シ置クヘシ

(リ) 下刈用鎌類ハ地方ニ依リ大小形狀種々アリ其良否ハ著シク功程ニ影響ヲ及ホスカ故ニ成ル可ク利器ヲ選ムヘシ且常ニ鈍若クハ小斧ヲ携帯スルヲ要ス

(ヌ) 下刈ハ降雨ノ日ト雖モ急峻ナル林地ノ外ハ實行シ得ヘシ蓋シ大雨ニ非サル限りハ炎天ニ比スレハ清涼ニシテ殊ニ草莖柔ク鎌ノ切れ味良キ爲却テ功程ノ進捗ヲ見ルモノナレハナリ

二、保護

森林被害ノ種類夥多ナリト雖モ最モ恐ルヘキハ火災ナリトス森林ニシテ一朝火ノ襲フ所トナランカ莫大ノ資本ト無量ノ勞力トヲ加ヘ辛苦經營シテ漸ク得タル美林モ瞬間ニシテ烏有ニ歸シ一望實ニ慘憺極

リナキノ狀ヲ呈スルニ至ルモノナリ特ニ新植林ニ於テ下草ノ繁茂スル間ハ頗ル危險時期ナルヲ以テ林内ハ勿論其附近ニ於テ喫煙及焚火ヲ嚴禁シ林緣路傍ニ沿ヒタル幅數間ノ場所ハ可燃性ノ物質ヲ叮嚀ニ取除キ且幼林漸ク鬱閉シテ下枝ノ枯死ヲ始ムルニ至ラハ危險ナル場所ヲ選ミ速ニ枝打ヲ施行シテ之ヲ取リ除キ置ク等常ニ周到ナル注意ヲ拂フヘキノミナラス造林地ノ周圍ニハ防火線ヲ繞ラシ野火ノ延焼ヲ豫防スルヲ要ス其幅ハ地況ニ依リ異ニシテ平坦地又ハ緩傾斜ノ峯筋ニ在リテハ隣地ヨリ延焼シ易キヲ以テ幅廣トナシ急峻ナル分水嶺ニ在リテハ比較的幅狭キモ安全ナルカ如シ故ニ其狀況ニ應シテ三間乃至十間位ト爲スヲ普通トス尙造林地ノ面積大ナル場合ニ於テハ其内部適當ノ位置ニ中央防火線ヲ布設シ一朝林内ニ野火ノ延焼スルコトアルモ其被害ヲ一部ノ地區ニ止メ累ヲ全部ニ及ホサ、ルヲ要ス而シテ此等ノ防火線ハ其位置ニ依リ區劃線又ハ林道ニ兼用スルヲ利トシ常ニ可燃物無キ様叮嚀ニ掃除シ置クヘク時トシテ防火線ニ沿ヒ耐火樹種ヲ植栽シ又防火線上ニ牧草又ハ穀菽ヲ植エ以テ雜草ノ發生ヲ防キ且防火線ヲ生産的ニ利用スル場合ナリトス、

之ヲ要スルニ再ヒ得ヘカラサル記念林ニ對シテハ極力周到ナル注意ヲ拂ヒ絶對ニ火災ノ虞ナカラシムヘキ様完全ナル豫防法ヲ講シ以テ噫臍ノ悔ナキヲ期セサルヘカラス山岳地方又ハ海岸ニ近キ林地ニ於テハ春秋ノ候稚樹ハ烈風ノ爲メニ劇シク動搖セラレテ根株ノ緊張弛緩シ往々根倒レヲ生スルニ至ルコトアリ又降雪多キ地方ニ於テ稚樹ハ積雪ノ爲メ壓倒セラレ春期解雪後ト雖モ到底舊態ニ復シ能ハサル

コトアリ此場合ニ於テハ速ニ苗起シヲ爲シ能ク根元ヲ締メ付ケテ枯損ナカラシムルト共ニ樹幹ノ彎曲
スルヲ防ク等決シテ手入ヲ怠ルヘカラス尙常ニ造林地ヲ巡視シテ獸害、蟲害、其他ノ諸害ニ注意シ銳
意周到ナル保護ヲ加フルハ勿論記念林ノ四周適當ノ位置ニ堅固ナル標柱ヲ建設シテ專ラ其神聖ヲ保チ
及フ限リ熱誠ヲ盡シテ枝打、間伐其他撫育ノ良法ヲ講シ以テ旺盛ナル生長ヲ促進シ莊嚴ナル林相ヲ形
成セシメ長ヘニ記念ノ實ヲ舉ケサルヘカラス

記念植樹ニ關スル注意終

大正三年二月二十六日印刷
大正三年二月二十八日發行

農商務省山林局

東京市京橋區瀧山町六七番地

印刷者 小川 邦 孝

東京市京橋區瀧山町六七番地

印刷所 東京製本合資會社

電話新橋(七九七九番)
七九七九番
七九七九番

344
370

終

